

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊勢崎市	三郷地区	令和3年3月31日	令和6年3月19日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	324.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	231.0ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計(法人の耕作地は含まない)	54.8ha
i うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	20.1ha
ii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.7ha
iii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.4ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・地区内の現状として、70歳以上の農業者の耕作面積は、54.8haあり、うち後継者がいない、もしくは未定の耕作面積は23.8haとなっている。今後、地域の中心経営体が引き受ける意向の耕作面積は15.4haとなっているが、新たな担い手の確保が必要である。 ・市内でも三郷地区は特に高齢化が進んでいる。施設園芸農家が少ない分、後継者もいない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用は、地区内の集落営農法人及び認定農業者等の担い手へ集積を行うことで、農作業の効率化と生産性の向上を進める。また、担い手の経営維持を図るため、後継者として若手農業者の人材確保を行う。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

地域の農業者・JA・関係機関等と情報交換を行い、今後空いてくる農地と数少ない若手農業者のマッチングを図る。地区内の調整が難しい場合は地区外で規模拡大意向のある担い手への貸付も視野に入れていく。
